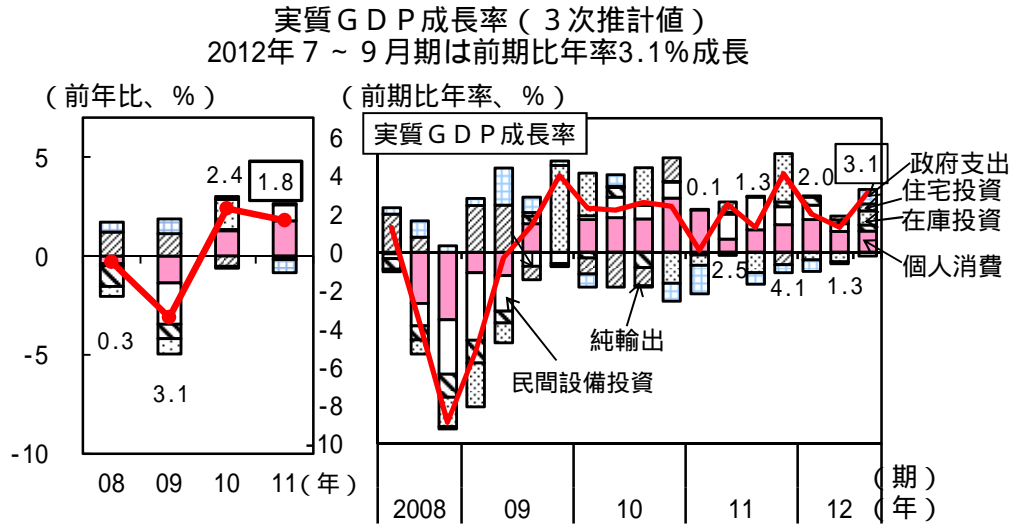
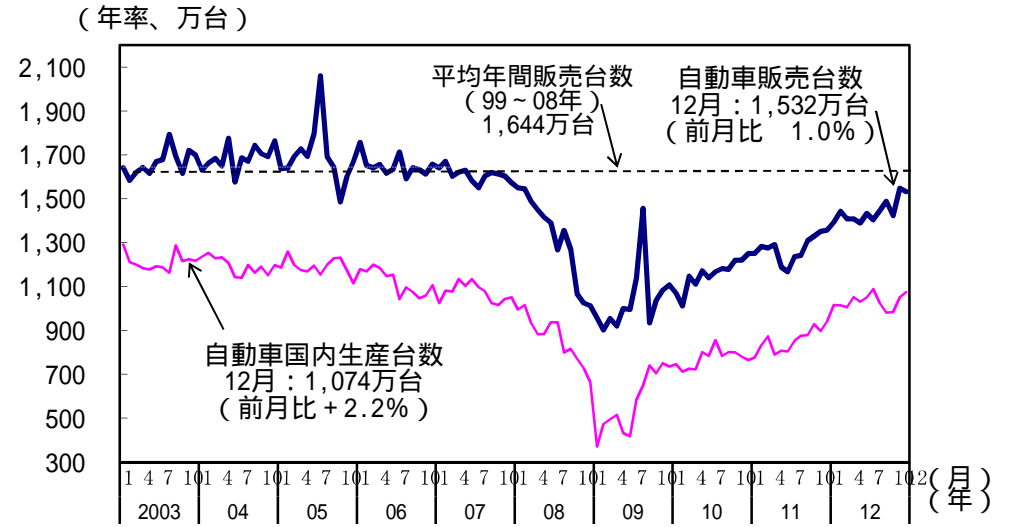


# 1. アメリカ

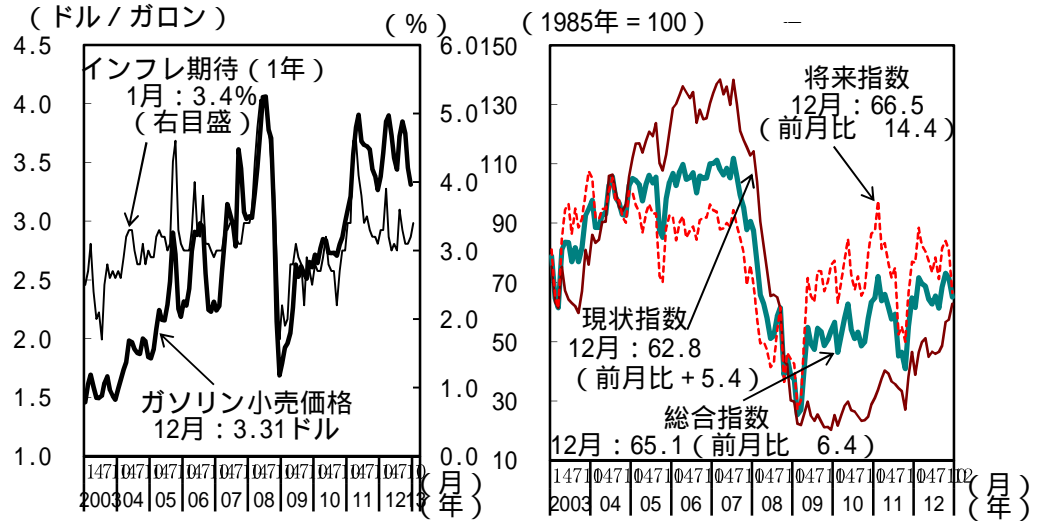
アメリカでは、景気は緩やかな回復傾向となっている。



## 自動車販売台数はこのところ増加

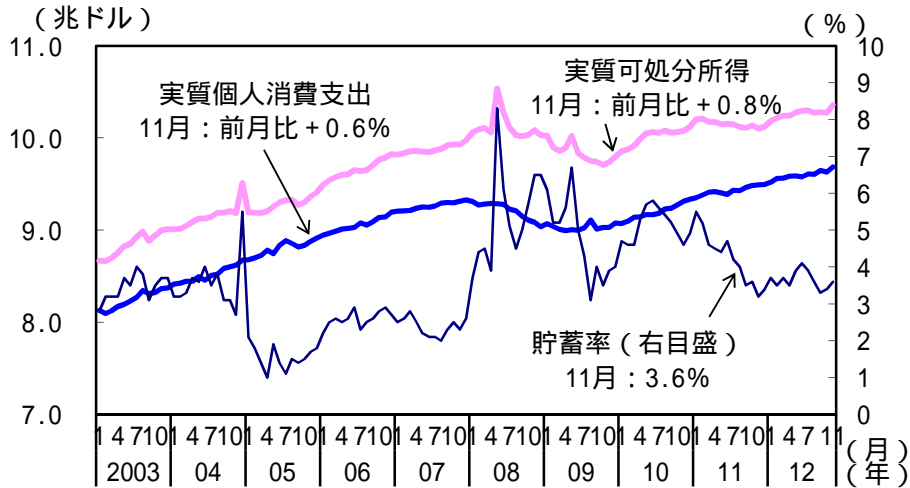


## 消費者信頼感指数は持ち直し傾向

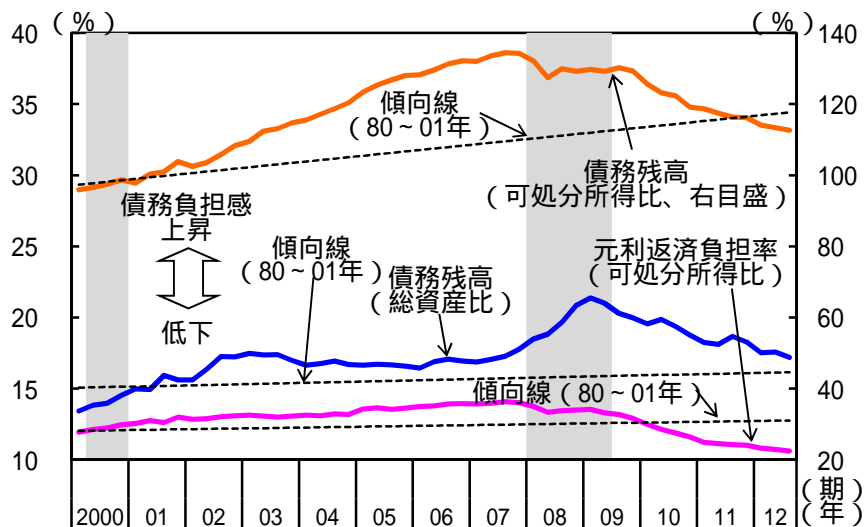


(備考) 将来指数は6か月後の見通し。ガソリン小売価格は月平均価格。インフレ期待は、今後1年後における物価上昇率予測回答の中央値。

## 消費は緩やかな増加傾向

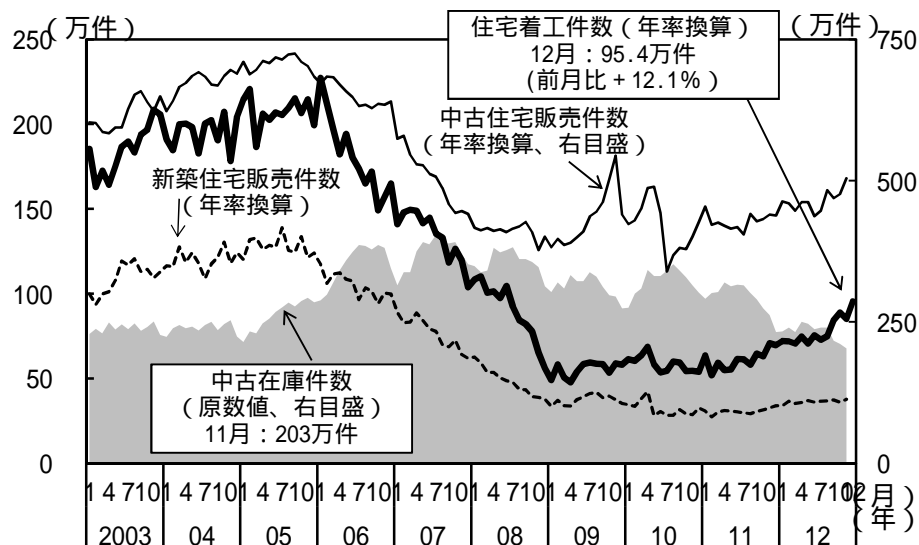


### 家計のバランスシート調整は継続



(備考) 1. 網掛け部分は景気後退期を指す。  
2. 「元利返済負担」は、住宅ローン及び消費者ローンの返済負担を示す。

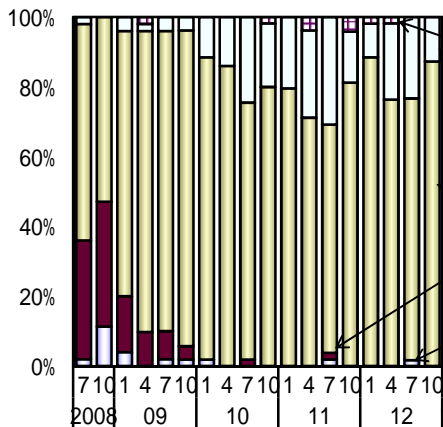
### 住宅着工は低水準にあるものの、緩やかに増加



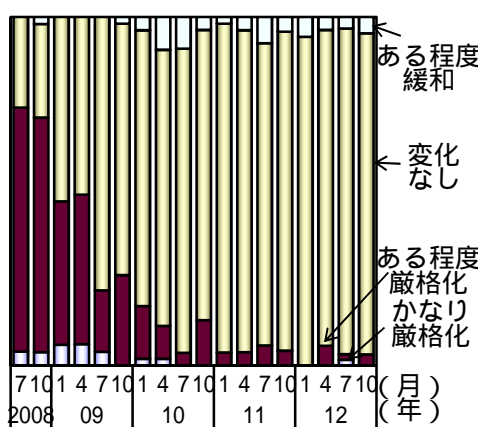
(備考) 12年11月の販売件数に対する中古在庫の割合は4.8ヵ月分、コアロジックが公表する市場にでていない潜在的な在庫(10月末)は5.5ヵ月分に相当。

### 金融機関の消費者向けローンに対する貸出態度はやや緩和

(1) 消費者向けローン

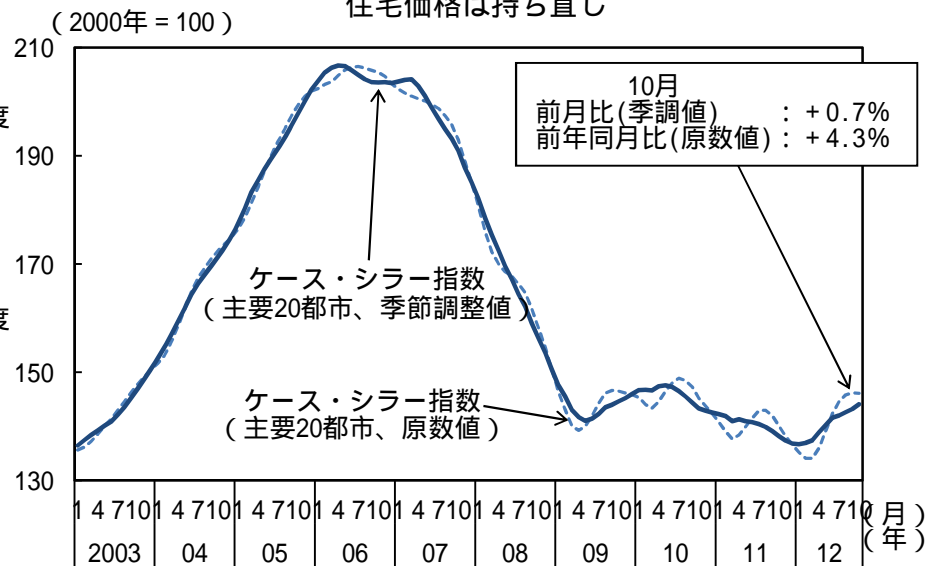


(2) 住宅ローン(プライム)

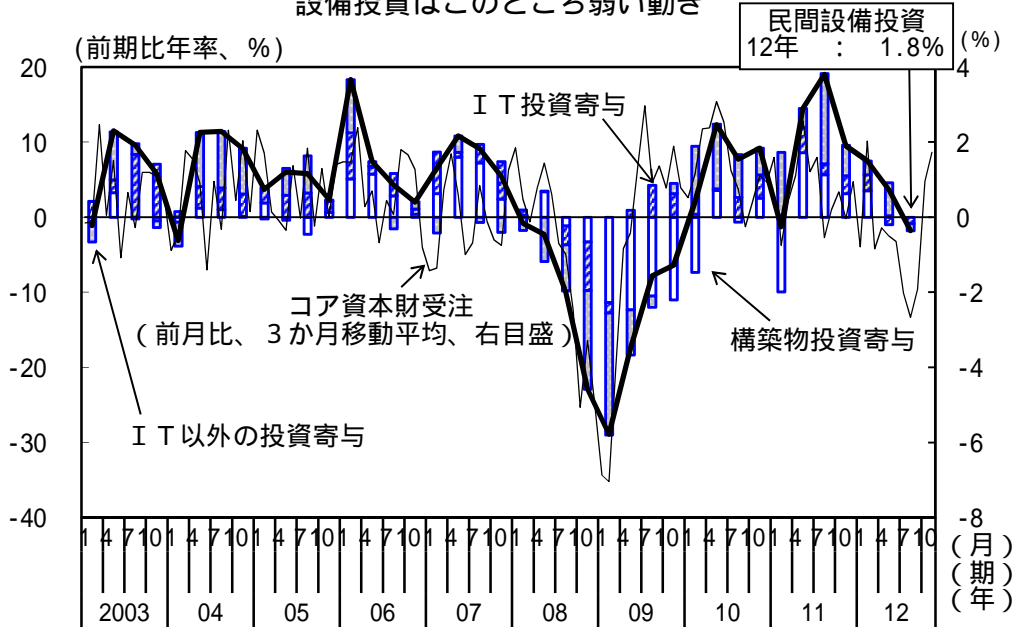


(備考) 1. 金融機関に対し、(1) 過去3ヵ月間で消費者向けローンに対する貸出態度をどのように変化させたか、(2) 住宅ローン(プライム)の申請に対する貸出基準をどのように変化させたか、それぞれアンケート調査を行ったもの。  
2. 消費者向けローンは住宅ローンを含まない。

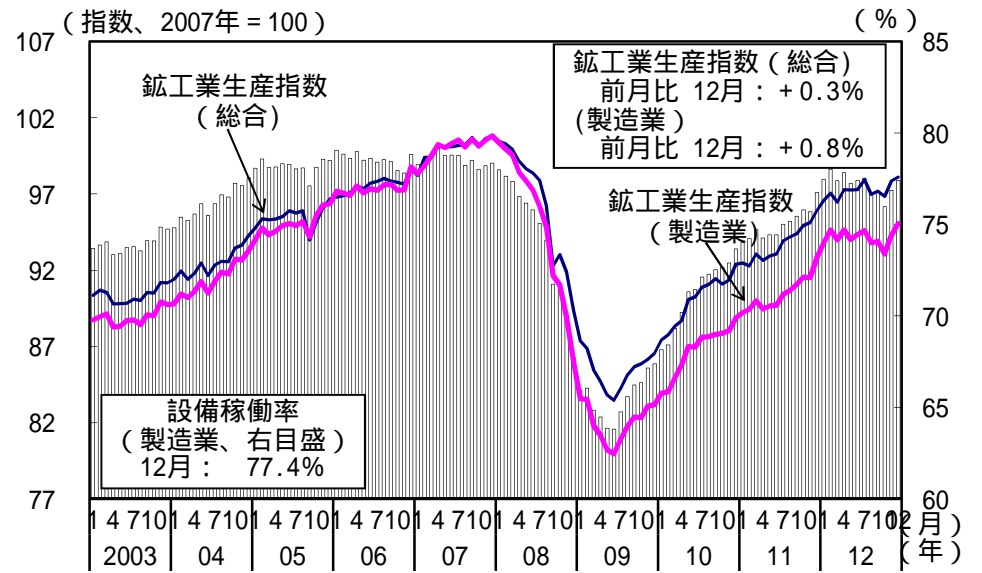
### 住宅価格は持ち直し



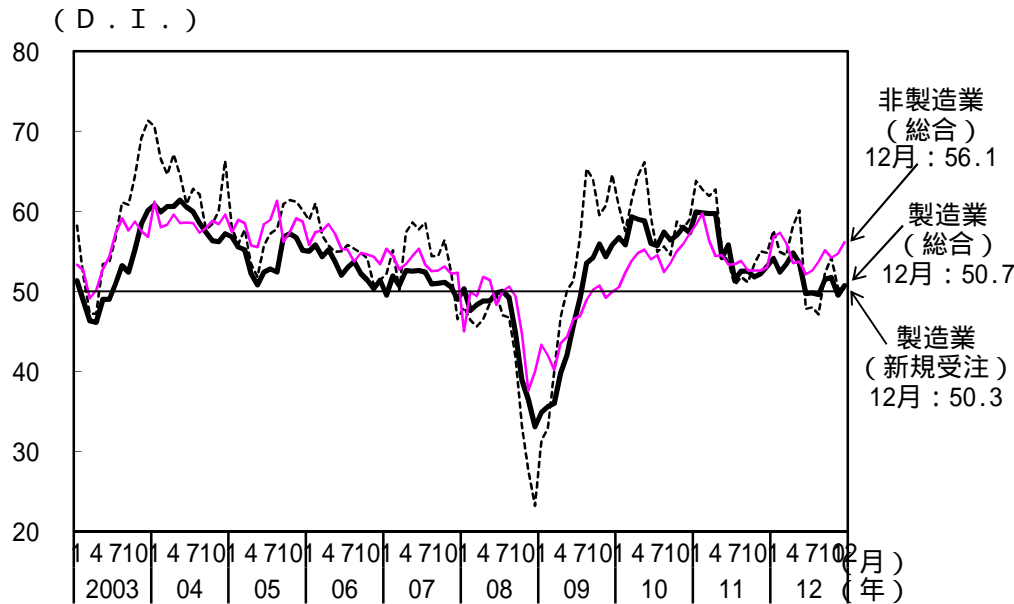
設備投資はこのところ弱い動き



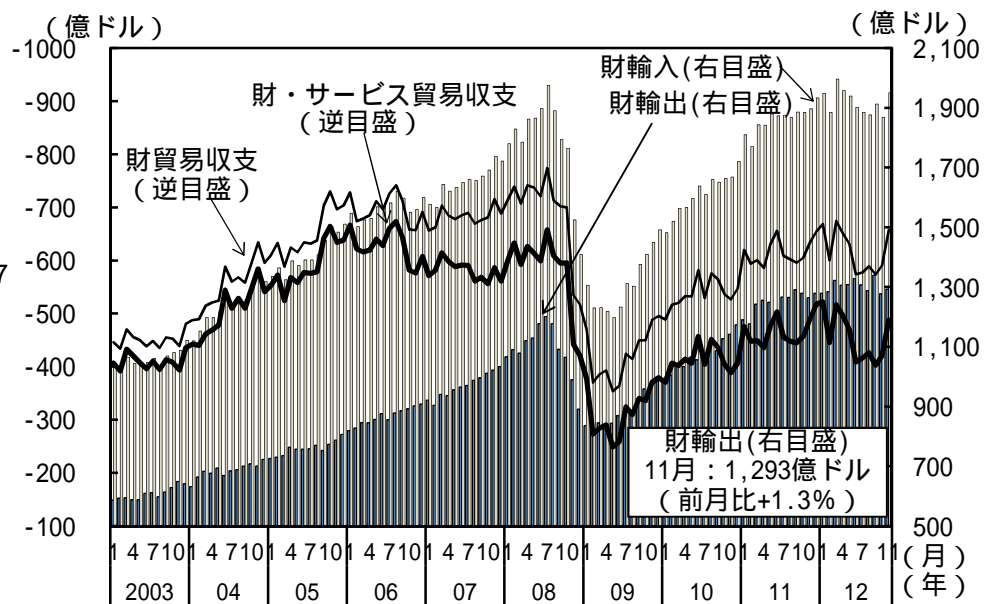
生産は底堅く推移



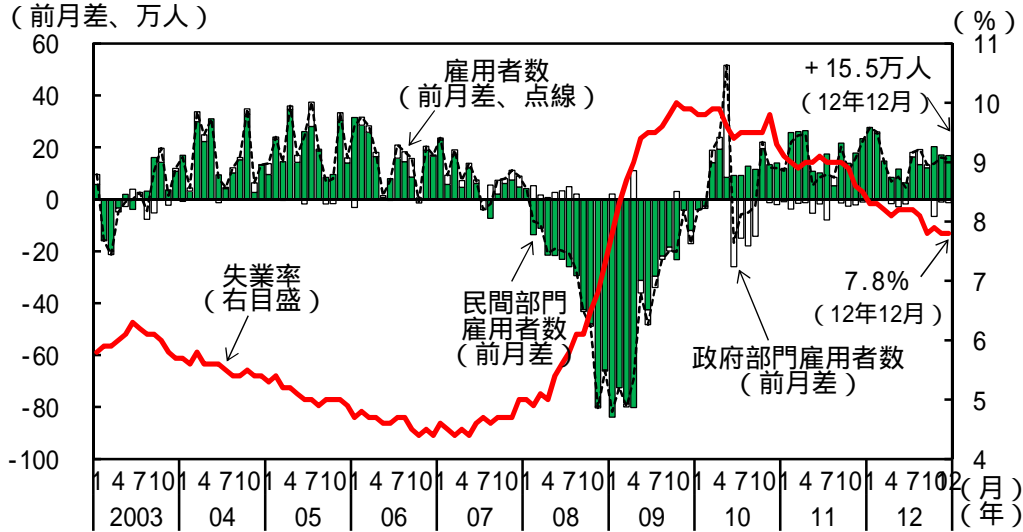
景況指数はおおむね横ばい



財輸出はおおむね横ばい



### 雇用者数は増加しており、失業率は低下傾向



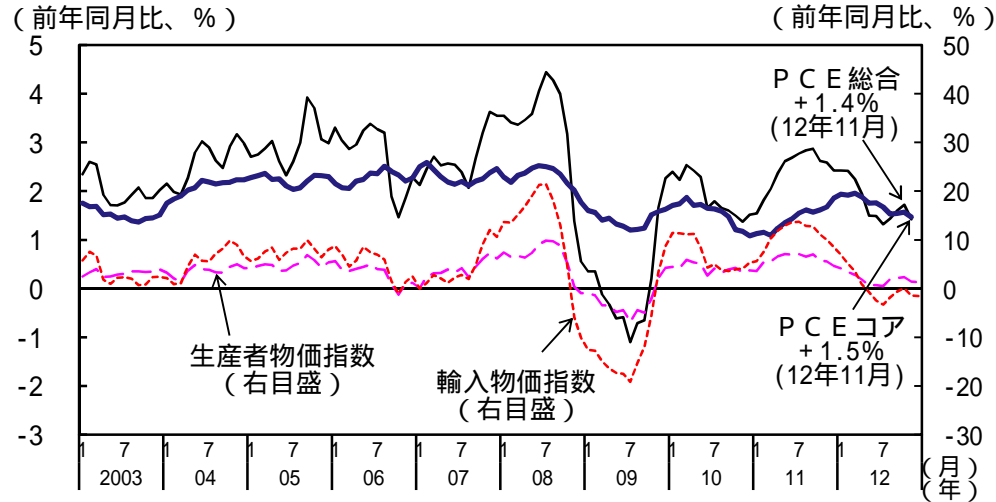
- (備考) 1. 雇用者数は非農業部門。  
2. 2008～09年の雇用者数の増減は 866.3万人、10年以降の雇用者数の増減は +470.2万人。

### 主要機関等による実質経済成長率の見通し

		(前年比、%)		
		12年	13年	14年
ブルーチップ (民間見通し平均) (13年1月10日)	上位10社	(2.3)	2.4	3.3
	平均	(2.2)	2.0	2.6
	下位10社	(2.2)	1.6	1.8

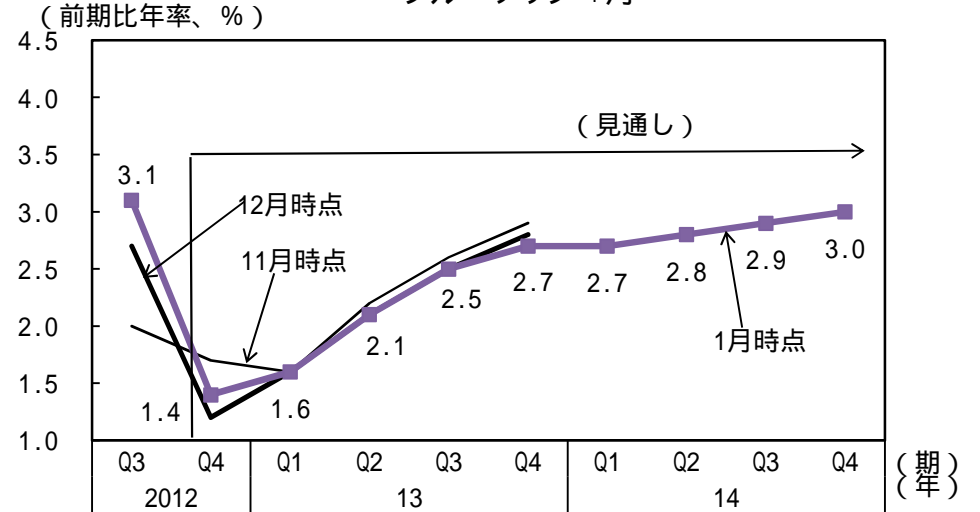
		(前年比、%)		
		12年	13年	14年
OECD (12年11月27日)		2.2	2.0	2.8
IMF (12年10月9日)		2.2	2.1	2.9
行政管理予算局 (OMB) (12年7月27日)		2.3	2.7	3.5
議会予算局 (CBO) (12年8月22日)		2.1	0.3	3.1
連邦公開市場委員会 (FOMC) (12年12月12日)		1.7～1.8 (10～12月期の前年同期比)	2.3～3.0 (同左)	3.0～3.5 (同左)

### コア物価上昇率は安定



(備考) コア指数は、総合指数からエネルギーと食品を除いた指数。

### ブルーチップ 1月



(備考) ブルーチップのカッコ内は、12年12月10日時点の見通し。